

## 停止又は長期欠席による復活報告

復活する事由			
I 学校処分	II 成績	III 本人都合	IV 長期欠席

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

以下の者について、停止期間が終了しましたので報告します。

届出年月日 2026 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

学校名 国立大学法人 京都大学

担当部長 (※) \_\_\_\_\_

※ 証明者は部長相当職以上の方としてください

奨学生番号	奨学生氏名※1	復活する事由※2	処分内容(該当するものに○)※3	★1			★2			卒業予定期※4		停止又は長期欠席中に発生した休・停止事由※5	前の休・停止事由の状態(該当するものに○)※6	★1※7			★2※7		
				年	月	日	年	月	日	年	月			年	月	日	年	月	日
				西暦下2桁	該当の場合	西暦下2桁	該当の場合	西暦下2桁	該当の場合	西暦下2桁	該当の場合			西暦下2桁	該当の場合	西暦下2桁	該当の場合	西暦下2桁	該当の場合
			停学									復活済み							
			訓告									引き続いている							
			停学									復活済み							
			訓告									引き続いている							
			停学									復活済み							
			訓告									引き続いている							
			停学									復活済み							
			訓告									引き続いている							
			停学									復活済み							
			訓告									引き続いている							

留意点	<p>【復活の始期】 通常ではない学籍であった最終日の翌月となります。 ※ ただし、停止と復活の始期が同月になる場合は、停止始期の翌月が始期となります。 例) 5月5日～5月9日の停学により6月始期の停止だった場合、復活の異動始期は7月 ※ 1年以上の停学の場合、「停止」とすることはできません。「廃止」の入力をお願いします。</p> <p>【振込みの再開月】 不備なく10日までに機構へ到着した書類は、原則翌月の振込日から再開します。 ※ 他の停止事由がない場合に限りです。 例) 6月10日に機構に到着した場合、7月の振込日より振込再開</p> <p>【停止期間中の奨学金】 原則停止した期間は修業年限に通算されます。 ※ 詳細は、裏面をご参照ください。</p>
報告手段	<p>本様式を異動・補導係へご郵送ください。</p> <p>〒162-8431 東京都新宿区市谷本村町10-7 独立行政法人日本学生支援機構 貸与・給付部奨学指導課 異動・補導係 電話番号：03-6743-6039</p>

- ※1 今回復活する事由が「III本人都合」の場合は、本人の自署が必要です。
- ※2 今回復活する事由を上記の「復活する事由」欄から該当する数字 ( I , II , III , IV ) を選択してください。
- ※3 停止時と同じ内容で提出してください。
- ※4 今回復活する事由が「成績」「長期欠席」の場合のみ、卒業予定期を記入してください。
- ※5 今回復活する事由が発生していた間に他の休・停止事由が発生していた場合は、その事由をご記入下さい。
- ※6 今回復活する事由が発生していた間に他の休・停止事由が発生していた場合は、その事由が既に復活済みか引き続くか当てはまるほうにチェックをつけて下さい。「引き続いている」に該当する場合は※5の記入は不要です。
- ※7 今回復活する事由が発生していた間に生じた他の休・停止事由が復活している場合には、その期間をご記入ください。

★1 学校処分: 通常の学籍であった最終日  
成績: 成績不振が確定した学年(学期)末の翌月  
本人都合: 停止開始希望年月  
長期欠席: 休止開始年月  
休止(通常): 在学の身分であった最終日  
休止(留学): 留学によって身分が切り替わる前の最終日  
休止(貸与先送り): 中断希望年月

★2 学校処分: 通常の学籍ではない学籍であった最終日  
成績: 成績不振が解消された学年(学期)末の翌月  
本人都合: 届出年月日の翌月(月の初日はその月)以降の  
本人が復活を希望する年月  
長期欠席: 復活年月  
休止(通常): 休学の身分であった最終日  
休止(留学): 留学によって切り替わった身分の最終日  
休止(貸与先送り): 復活希望年月

電話番号 (担当者名)
075-753-2535 ( )

学校番号						区分
1	0	6	0	0	2	

提出先	郵送の要否	スカラAC
異動・補導係	送付必要	処理不要

(26. 4)